

西部

事業所
併設型

放課後児童クラブに参加する児童と地域住民の交流の場

<平成29年度開設>

エルフィスユニバーサルカレッジR431加茂キャンパス

運営団体 : 株式会社 エルフィス
問合せ先 : TEL 0859-21-0121
FAX 0859-21-0767
施設所在地 : 米子市両三柳4349番地 2階
ホームページ : <http://elfith.com/>



活動日時

(イベント)
月1回程度(不定期)

(放課後児童クラブ)
平日 15:00 ~ 19:00
長期休暇 8:00 ~ 19:00

活動内容

放課後児童クラブ「エルルこども学園 学童スクール R431加茂」施設内に地域交流スペースを設け、スポーツ活動や、雅楽などの文化活動をされている地域のボランティアを受け入れている。ボランティアを受け入れたイベントは、月に1回程度開催し、また、好きな時にボランティアに来ていただける受け入れ態勢も整えている。

子どもたちは、色々な人と関わりを持つことを通じて、興味のあることや得意なことを見つけることができる。これは、将来自分がなりたいこと、夢を叶える基礎を養うサポートへとつながる。

また、ボランティアに来てくださる方の中には、地域で生き場を失っている住民や地域で活躍したいアクティブシニアなどもいっしょに、児童へのボランティアを通じて役割づくりの場にもつながるため、住み慣れた地域で生きがいを持って活動する拠点となっている。



活動のきっかけ



事業を始めた時から、法人として「地域密着」をテーマに掲げて活動している。

子どもたちが地域の大人たちと交流する機会は年々減少しているが地域交流のニーズは高く、実際に「交流事業をやっている」ということがサービス選択の決め手になる場合もある。また、大人たちの中にも、自分の持っている技能を活かして子どもと交流したい、地域貢献がしたいと思っている人たちがいることに気がついた。

このことから、子どもと大人、両者にとっての地域交流の場として事業を始めることとした。

今後の展望



まだまだ、地域の方々の認知が高くないと思われるので、今後、一層認知度を高めていくとともに、子どもたちに色々なことを教えて下さるボランティアの方々もさらに増やしていきたい。そのために、交流の回数を増やす、情報発信の場を活用する、人脈を広げるなどの工夫をし、地域で活躍を望まれている方の掘り起こしに努めたい。

工夫した点

立ち上げ面

すでに同法人で共生ホームの「共生サービス型」にも登録されている「エルフィス地域密着型複合交流施設」を運営し高齢者と子どもとの交流拠点として事業を行っていたため、交流の大切さについてよく理解していた。R431加茂キャンパスは新しい場所子どもだけを対象とした事業ではあるが、同じく交流を取り入れることが有効であるとの認識があったため、地域の方々に子どものために活動していただける場としての役割を特に目指した。

運営面

運営側が特に意識している点は、交流のねらいを明確にしておくこと。

例えば交流をする上で、子どもたちがお互いの多様な価値観を認め合うことができるようになる、地域の方にきちんと挨拶できるようになるなど、交流を通して子どもたちに何を学んで欲しいか、どうなって欲しいかという目的意識をもって運営している。



代表者のコメント



エルフィス 代表取締役 阿部 節夫 さん

当社は2010年より鳥取ふれあい共生ホーム事業(エルフィス地域密着型複合交流施設)を運営しております。おかげさまで高齢者と子どもが融合する施設としては全国でも珍しい大規模な交流が日々、行われております。新しい事業所では子どもと地域の方々との交流拠点となりますが、より多くの方々との交流ができる施設を目指してまいります。